

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 奈良市和楽園

令和元年度

事業報告書

目次

- 1 社会福祉法人 奈良市和楽園 (P1~P5)
- 2 養護老人ホーム 和楽園 (P6~P12)
- 3 特別養護老人ホーム 和楽園 (P13~P18)
(短期入所生活介護 (ショートステイ事業) 含む)
- 4 在宅福祉事業
 - 1 デイサービスセンター 和楽園 --- (P19)
 - 2 シルバーハウジング事業 --- (P20)
 - 3 訪問介護センター 和楽園 --- (P20~P22)
- 5 ケアハウス 和楽園 (P23~P27)
- 6 わらくえん保育所 (P28~P29)

1 社会福祉法人 奈良市和楽園

令和元年度 事業報告

I 平成の時代から令和へと元号も変わり新しい時代と変わりましたが、一方では、昨年の10月より消費税の増税、軽減税率の導入やそれに伴い社会福祉においても介護人材確保や雇用を推進するために介護職員処遇改善加算の増額等社会保障制度改革がなされました。最近では感染症禍（新型コロナウイルス）と社会全体が大きく動いた社会状況です。

このような情勢下で、社会福祉法人の運営基盤の確立、生活施設の健全運営及び人材確保等社会福祉法人の経営手腕を問われる状況が続き、大変厳しい決断、対応を迫られています。そして、従来役割である地域社会との関りにおいても困難な面がありますが乗り越えていかなければならないと考えています。

当法人においても事業経営の透明性の向上及び効率化及び経営する施設の施設整備（施設改修等）、設備の充実や環境改善等に取り組ましました。

特に、企業主導型保育園事業に取り組み、保育事業への参画を実現し、新たな方面での事業展開を実施しました。

一方では、法人を取り巻く重要課題である人材確保に係る求人活動、雇用推進策や外国人技能実習生の受入及び障害者雇用等多様な人材確保に一定の成果（求人状況等）を確保いたしました。特に外国人技能実習生（ベトナム人実習生）を受入れ、来年度以降も重要課題として取り組んでいく予定です。

また、職員の定着に向けた支援及び研修・研究体制等に取り組み、良質な介護サービス提供ができるように職員の介護技術の向上をはかり地域での高齢者福祉の拠点となるように努めていきたいと考えています。

以下、当法人の令和元年度活動を報告いたします。

II 理事会・評議員会・監事会 開催状況

1 理事会

・令和元年5月23日

- 第1号議案 理事・監事の候補者（案）について
 - 第2号議案 平成30年度事業報告（案）について
 - 第3号議案 平成30年度収支決算報告（案）について
 - 第4号議案 諸規程の改正（案）について
 - 第5号議案 定時評議員会の日時及び議題（案）について
- その他報告事項
社会福祉充実残額報告について

職員の懲戒解雇処分について

平成 30 年度職員研修実績報告について

・ 令和元年 6 月 14 日

第 6 号議案 理事長の選定（案）について

第 7 号議案 業務執行理事の選定（案）について

・ 令和元年 8 月 1 日

第 8 号議案 定款変更（案）について（条件付き承認）

第 9 号議案 諸規定の改正（案）について

第 10 号議案 第 2 回評議員会の日時及び議題（案）
について

・ 令和元年 11 月 28 日

第 11 号議案 令和元年度上半期事業執行報告について

第 12 号議案 令和元年度第 1 次収支補正予算（案）
について

第 13 号議案 諸規程の改正（案）について

第 14 号議案 第 3 回評議員会の日時及び議題（案）
について

その他報告事項

実務者研修奈良市和楽園教室の開講について

高齢者虐待防止法による任意の調査の結果について

・ 令和元年 3 月 19 日

第 15 号議案 令和元年度第 2 次収支補正予算（案）
について

第 16 号議案 令和 2 年度事業計画（案）について

第 17 号議案 令和 2 年度収支予算（案）について

第 18 号議案 諸規程の改正（案）について

第 19 号議案 第 4 回評議員会開催日時及び議案（案）
について

その他報告事項

社会福祉法人 奈良市和楽園 資金運用関係について

外国人留学生の採用に係る検討について

2 評議員会

・ 令和元年 6 月 13 日

第 1 号議案 理事・監事の選任（案）について

第 2 号議案 平成 30 年度事業報告（案）について
第 3 号議案 平成 30 年度収支決算報告（案）について
第 4 号議案 諸規程の改正（案）について
その他報告事項
社会福祉充実残額等の報告について
職員の懲戒解雇処分について
平成 30 年度職員研修実績報告について

・ 令和元年 8 月 9 日

第 5 号議案 諸規程の改正（案）について

・ 令和元年 12 月 6 日

第 6 号議案 令和元年度第 1 次収支補正予算（案）
について

第 7 号議案 諸規定の改正（案）について

その他報告事項

実務者研修奈良市和楽園教室の開講について
高齢者虐待防止法による任意の調査の結果について

・ 令和 2 年 3 月 27 日

第 8 号議案 令和元年度第 2 次収支補正予算（案）
について

第 9 号議案 令和 2 年度事業計画（案）について

第 10 号議案 令和 2 年度収支予算（案）について

第 11 号議案 諸規程等の改正（案）について

その他報告事項

社会福祉法人 奈良市和楽園 資金運用関係について
外国人留学生の採用に係る検討について

3 監事監査

・ 令和元年 5 月 20 日

令和元年度理事の業務執行状況及び法人の財産状況について

III 指導監査

・ 令和元年 9 月 10 日

奈良市：・ 令和元年度社会福祉法人及び社会福祉施設に対する
指導監査

・ 令和元年度介護保険施設等及び障害福祉サービス事業所
に対する実地指導監査を受ける。

実地指導：法人・養護老人ホーム和楽園

特定施設（養護）・訪問介護・デイサービス
書面指導：特別養護老人ホーム・ケアハウス

・令和元年10月2日

指導監査結果：法人関係で3件、経理関係で1件の指摘がありましたが適正に改善したことを報告いたしました。

Ⅳ 補助・助成金事業

1 社会福祉法人 奈良市和楽園

- ・公益財団法人 児童育成協会：令和元年度 企業主導型保育園事業補助金
- ・令和元年度奈良市保育環境改善等事業費補助金

Ⅴ 施設事業及び施設整備改修関係

1 企業主導型保育事業

令和元年9月1日 「わらくえん保育所」を開所する。

2 福祉事業関係

令和元年8月31日 「訪問介護センター和楽園」を休止する。

「デイサービスセンター和楽園」を休止する。

令和元年9月1日 養護老人ホーム和楽園特定施設の体制変更を行う。

3 施設改修等関係

工期：令和元年7月上旬～10月中旬

・養護老人ホーム

医務室、支援員室、一時介護室、理髪室及び娛樂室等改修する。

・特別養護老人ホーム

介護員室、洗面等改修する。

Ⅵ 職員の主な研修等の状況

・令和元年5月 福祉職員キャリアパス生涯研修課程

（初任者及びチームリーダーコース（4回開催））

・令和元年6月 令和元年度奈良県地域包括・在宅介護支援協議会・セミナー

令和元年度県経営者協議会経営セミナー

県福祉人材センター・福祉職員キャリアパス対応生涯研修

（6月～7月 4回開催）

・令和元年7月 令和元年度県経営者協議会セミナー

令和元年度全国栄養士大会

令和元年度奈良市特定給食施設等研修会

- ・ 令和元年 8 月 令和元年度県栄養士会 研究発表・特別講演会
- ・ 令和元年 9 月 令和元年度近畿老人福祉施設協議会 管理職研修
- ・ 令和元年 10 月 令和元年度権利擁護センター成年後見セミナー
令和元年度コミュニティソーシャルワーク実践研修
(10 月～11 月 4 回開催)
- ・ 令和元年 11 月 第 13 回日本褥瘡学会 奈良県在宅褥瘡セミナー
令和元年度全国老施協・施設福祉大会（茨城大会）
令和元年度県老施設協・サービスの質向上研修
介護リスクマネジメント家族からのヘビークレーム
の対抗策研修

令和元年度県老施協・看護職員研修
- ・ 令和元年 12 月 令和元年度県老施協・職員研究会議
日本介護福祉士会 介護職種の技能実習指導員講習
令和元年度県老施協・オープンセミナー
令和元年度県老施協・生活相談員研修
令和元年県・市特定給食施設等研修会
- ・ 令和 2 年 1 月 令和元年度 企業主導型保育事業 保育安全研修
奈良県 企業主人権・同和問題研修会
奈良市 人権啓発事業主研修会
- ・ 令和 2 年 2 月 雇用保険照合事務省略対象事業所事務担当者研修
日本介護福祉士会 介護実習指導フォローアップ研修

2 養護老人ホーム 和楽園

令和元年度 事業報告

令和元年度養護老人ホーム和楽園は、定員割れが続いており、施設定員125名に対し111名（年度末）となっています。また、昨年より入所希望者も増加していますが、利用現員は、前年より平均約6.7名増となっています。

令和元年度の平均入所者数が114.3名、稼働率約91.4%となっています。全国的にも措置施設（養護老人ホーム）で定員割れがあり、措置控え等が問題となっているのが現状です。当園においては、積極的に措置機関に働きかけることで入所が増加傾向にありますが、常に、稼働率90%以上を確保する方策を進めていきます。

そのような状況の中、生活支援施設及び地域拠点としての養護老人ホームを目指して、入所者に幅広いサービスを提供して、入所者の安全で安心できる生活支援・介護提供を志していきたいと考えます。以下、令和元年度における養護老人ホームの事業内容等を項目別に報告いたします。

1. 入所者の状況

年間平均入所者114.3人（定員125名、稼働率平均91.4%）でした。別表（1）異動状況では本年度中に退所した人13人（男5・女8）入所者16人（男4・女12）となっており、3月末現在で111人（現員）が入所している。別表（1）

措置機関別入所状況（別表（2））及び年度別入所者推移表（別紙（3））

2. 職員の配置状況

当園の基準人員は次のとおりである（令和2年3月末現在）

職名	基準人員	配置人員	備考
施設長	1	1	特定施設管理者兼務
事務員	必要数	4	
生活相談員	4	4（1）	特定施設計画作成担当者・生活相談員兼務含む
支援員	6	18（2）	主任支援員1名、特定施設介護員兼務14名
看護師	2	5（3）	特定施設介護員兼務
栄養士	1	1（1）	
施設管理員		4（1）	法人全施設兼務
医師	嘱託	1（1）	
計		38（9）	

（ ）は内非常勤

3. 入所者の処遇

要支援・要介護者ができる限り本人らしい生活を営んで頂けるよう個別処遇に重点を置き、また自立者に対しては、ソーシャルワーク機能の強化により生活援助・生活指導等を実施いたしました。また、毎月2回の処遇会議、サービス担当者会議、各種委員会（事故防止委員会・感染症防止委員会・虐待防止委員会）を開き情報共有と処遇方針等を協議し、積極的な処遇向上・事故防止・感染症防止及び虐待防止に対処いたしました。

4. 給食について

栄養価、カロリー摂取等に注意して嗜好調査を献立に生かし、選択食を導入しバラエティに富む食事の提供を行った。

また、季節ごとの外注食や特別食等を取り入れ、入所者の食生活の充実に積極的に取り組みました。

5. 保健衛生と医療について

健康管理について、入所者の健康維持の為に、早期医療機関の受診を積極的に実施し、既往症等疾患の悪化を防ぎ、また、緊急時医療については、救急搬送・協力病院等の支援により、適時対応できる体制の構築（通院の送迎等）を実践いたしました。

一方施設内での健康管理は、嘱託医の往診を月1回、歯科及び精神科医師の往診を各月1回実施し、医療面での支援、また、鍼灸師により施術（希望者）も週3日訪問実施を行い、入所者の衛生管理においては、特に感染症（インフルエンザ、ノロウイルス等）については、防止策を徹底して、感染症の発症をできる限り抑えるように対処いたしました。

（1）健康診断は年2回（春・秋）実施しました。

（2）入浴は原則として週6回、入浴介助を必要とする入所者は週2回とし、介助浴と一般浴の2部制にして実施しました。

（3）理髪は毎週出張理容、理美容は毎月出張理美容を実施しました。

6. 教養娯楽について

テレビ観賞、新聞、雑誌、小説などの読書、教養娯楽環境の整備、また、趣味によるクラブ活動として詩吟やカラオケ、手芸、習字等を通じて入所者同志の親睦を深め、より良い人間関係を作れるように取り組み、対外的には、東人権文化センターにおいて開催されたふれあい人権フェスタに作品を出展し、地域活動に貢献いたしました。

恵まれた立地環境を利用して散歩、買物、通院等で外出する人も多いため交通事故防止を呼びかけ注意に留意をしながら、外出を促進している。その結果、気分転換やリハビリとなり健康上良好な結果を得ている。

毎月第3火曜日に誕生会を開催し、長寿と健康を祝い、親睦を深めました。
令和元年度中のレクリエーション及び諸行事の実施状況は別表（4）のとおりです。

7. 訪問とボランティアについて

年間を通じて舞踊、歌謡曲等の訪問も多く受入れ、喫茶コーナーのボランティア等、多面にわたりご支援を賜り、入所者のためにいろいろと協力をいただきました。
別表（5）のとおりです。

8. 安全管理について

防火・防災については、日頃から入所者や職員の注意の喚起に努めるとともに、全施設合同で年2回の避難訓練、消火訓練、通報訓練を次のとおり実施しました。

第1回 令和 元年 10月6日（水）午後1時30分より（昼間想定）

第2回 令和 2年 3月25日（水）午後1時30分より（夜間想定）

9. 施設内研修等

- ・和楽園全体研修会（身体拘束廃止及び虐待防止委員会研修）

令和元年8月27・28日、12月18・19日

- ・和楽園全体研修会（感染症対策小委員会研修）

令和元年6月19・20日、10月21・25日

- ・和楽園全体研修会（事故対策小委員会）

令和元年9月26・27日、令和2年2月17・28日（新型コロナウイルス予防の為延期）

10. 施設視察等の受入状況（平成31年4月～令和2年3月）

令和元年 6月 18日	東部ブロック地区民生児童委員協議会
令和元年 6月 19日	栗東市金勝地区民生委員・児童委員
令和元年 7月 10日	尼崎市立立花地区民生児童委員協議会
令和元年 9月 6日	精華地区民生児童委員協議会
令和元年 10月 10日	明治地区民生児童委員協議会・万年青年クラブ連合会
令和元年 10月 11日	一般社団法人 日中協会
令和元年 10月 31日	大安寺地区民生児童委員協議会

別表（１）令和元年度入所者月別異動状況

	入所者数			退所者数			内死亡者数			月末在所要数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計(人)
4月末		1	1							23	92	115
5月末	1		1		1	1		1	1	24	91	115
6月末	2	1	3	1	1	2	1	1	2	24	91	115
7月末		1	1		1	1		1	1	25	91	116
8月末	1		1		1	1		1	1	26	91	117
9月末					2	2		1	1	27	89	116
10月末					1	1		1	1	26	88	114
11月末		2	2		1	1		1	1	25	88	113
12月末				1		1	1		1	25	89	114
1月末	1		1		2	2		2	2	26	87	113
2月末		1	1	1		1	1		1	25	86	111
3月末		1	1							25	87	112
年間	5	7	12	3	10	13	3	9	12	301 (25.1)	1,070 (89.2)	1,371 (114.3)

◆末日退所・死亡については、月末在所要数に含む。

別表（２）令和元所者状況表(令和2年3月31日現在)

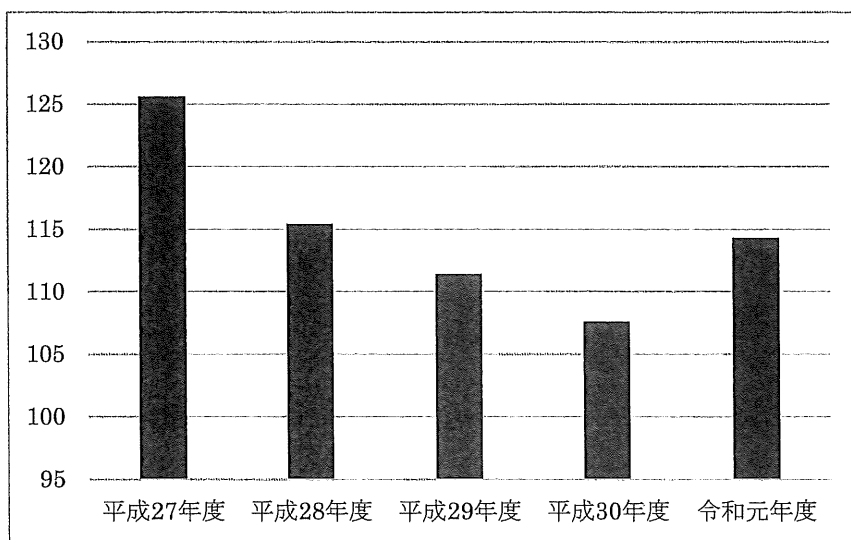
措置機関	入所者数
奈良市	73人
奈良県内 各市町村	12人
大阪府内 各市町村	6人
京都府内 各市町村	19人
三重県内 各市町村	1人
合計	111人

(別表 3)

1 年度別平均入所者及び稼働率 (年度別: 5年間)

年度	平均入所者数	稼働率 (%)	備 考
27	125.6	83.7	
28	115.4	76.9	
29	111.4	74.3	
30	107.6	86.1	
1	114.3	91.4	

※平成 30 年度以降は定員 125 名

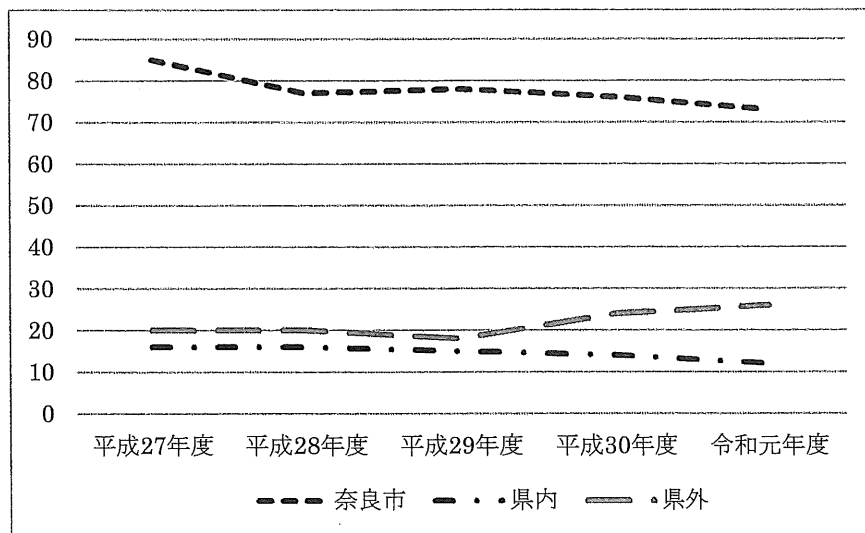


2 措置機関別入所者 (年度別: 5年間)

各年 3 月末現在

年度	奈良市	市外 (県内)	県外	合計
27	85	16	20	121
28	77	16	20	113
29	78	15	18	111
30	76	14	24	114
1	73	12	26	111

※平成 30 年度以降は定員 125 名



別表 (4)

令和元年行事実施一覧表

実施年月日	行先または行事名	参加人数	付添人数
H31. 3. 26 ～ 4. 4	花見ドライブ	延べ 80	延べ 25
R1. 5. 29	家族交流運動会	全員	全員
R1. 6. 5	和楽園紅白歌合戦	17	当日出勤職員
R1. 7. 24	地藏盆	希望者	当日出勤職員
R1. 7. 31	盆踊り・花火会	全員	当日出勤職員
R1. 8. 9	盂蘭盆法要	全員	当日出勤職員
R1. 9. 11	和楽園敬老祝賀会	全員	全員
R1. 9. 20	秋の彼岸法要	全員	当日出勤職員
R1. 10. 2	和楽園フェスティバル	全員	全員
R1. 11. 19	入所者日帰り遠足	20	7

R1.12.18	クリスマス会	全員	当日出勤職員
R2.3.18	春の彼岸法要	全員	当日出勤職員

別表(5)

令和元年度 主な訪問とボランティア一覧表

年月日	施設訪問・ボランティア等名称	ご芳名	人数
H31.4.6	大和路演歌夢まつり	東市歌謡倶楽部	50
R1.6.24	クラシックコンサート	ゆうゆうビジット	4
R1.6.26	車いすダンス	銀の輪	20
R1.7.3	懐メロワンマンショー	三枝 尚子	1
R1.10.30	楽器演奏、踊り等	タウンコンサート	10
R1.12.26	吹奏楽演奏・踊り	J R 西日本 ふれあい楽団	13
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶コーナー ・ 東市歌謡クラブ ・ 習字クラブ 	毎週2回 毎月2回 偶数月1回	

3 特別養護老人ホーム 和楽園

令和元年度 事業報告

介護保険制度が広く浸透してきたことから、利用者のさまざまな福祉ニーズを的確にとらえ、より質の高いサービスの提供につとめた。また安全で安心していただけるゆとりある介護につとめた。

1、利用者の状況

別表（1）、別表（2）、別表（3） のとおりである。

2、職員の配置状況

令和2.3.31現在

職名	基準人員	配置人員	備考
施設長	1	1	
事務員	必要数	2	
生活相談員	2	5	介護支援専門員 3名兼務
介護員	31	40(11)	介護福祉士 初任者研修終了
看護師	3	4	
栄養士	1	1	管理栄養士
調理員	必要数	0	外部委託
医師	嘱託	2(2)	嘱託医師2名
機能訓練指導員	必要数	1	理学療法士
その他	必要数	7(4)	
計	—	63(17)	

() は非常勤、再掲

3、利用者のケア

心身ともに、様々な障害を持つ利用者の多様なニーズを受容し、その人にあったケアプランを作成し質の高い介護の提供につとめた。また生活の場として安らぎの持てる雰囲気づくりにつとめた。

4、給食について

栄養ケアマネジメントの導入により個別の栄養状態に着目し、適切な栄養価、食事形態に配慮し、時宜に合わせてちらし寿司や赤飯等バラエティーに富んだ内容とし、楽しい食事の提供につとめた。（平均提供カロリー－1500Kcal）

また食事摂取が困難で栄養状態の悪い利用者に対しては、補助食品により栄養補給につとめるとともに、特に経口摂取が困難となりつつある利用者に対しては、医師や多職種連携を図り、安全に食事ができるようにつとめた。

5、健康管理と医療について

嘱託医については、週2回往診に施設に来て頂き利用者の健康管理に努めるとともに、協力病院として奈良春日病院に依頼し、緊急時の診療や入院に対応できる体制を取っている。また協力歯科医療機関とし、ゆめはんな歯科クリニックに依頼し利用者の口腔ケアに努めています。

また定期健康診断（年2回）のほか、本年もインフルエンザの予防接種を行った。

6、教養娯楽について

社会生活を維持し生きがいを求め残存機能の維持を図るため、集团的レクリエーションや個別ケアを充実させている。令和元年度中のレクリエーション及び諸行事の実施状況は別表(4) のとおりである。

別表(1)

入所利用者要介護度別状況

令和元年3月31日現在

区 分	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	合 計 (人)
旧措置者	0	0	0	0	1	1
介保入居者	0	4	17	38	22	81
合計(人)	0	4	17	38	23	82

(平均要介護度 3.97)

別表 (2)

令和元年度 長期入所 要介護度別延べ利用日数(入院等で不在の場合は、利用日数に含まない。)

		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計(人)	
		個室	多床室	個室	多床室	個室	多床室	個室	多床室	個室	多床室	個室	多床室
4月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	26
	新入所者	0	0	13	90	142	390	210	789	173	552	538	1,821
	計	0	0	103	90	232	390	999	789	751	552	2,385	
5月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	新入所者	0	0	31	93	145	465	217	772	155	518	548	1,848
	計	0	0	124	93	610	465	989	772	675	518	2,398	
6月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30
	新入所者	0	0	30	90	162	383	233	665	113	471	538	1,609
	計	0	0	120	90	545	383	898	665	614	471	2,177	
7月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
	新入所者	0	0	31	93	179	394	277	723	124	597	611	1,807
	計	0	0	124	93	573	394	1,000	723	752	597	2,449	
8月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
	新入所者	0	0	31	93	175	367	278	777	105	548	589	1,785
	計	0	0	124	93	542	367	1,055	777	684	548	2,405	
9月	旧措置者	0	0								22	0	22
	新入所者	0	0	30	90	120	337	262	791	120	560	532	1,778
	計	0	0	120	90	457	337	1,053	791	702	560	2,332	
10月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
	新入所者	0	0	31	93	170	361	248	836	93	606	542	1,896
	計	0	0	124	93	531	361	1,084	836	730	606	2,469	
11月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30
	新入所者	0	0	30	90	180	360	253	822	90	511	553	1,783
	計	0	0	120	90	540	360	1,075	822	631	511	2,366	
12月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
	新入所者	0	0	31	93	177	372	267	825	93	589	568	1,879
	計	0	0	124	93	549	372	1,092	825	713	589	2,478	
1月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
	新入所者	0	0	31	93	155	372	245	847	85	568	516	1,880
	計	0	0	124	93	527	372	1,092	847	684	568	2,427	
2月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	29
	新入所者	0	0	29	87	153	344	255	819	87	458	524	1,708
	計	0	0	116	87	497	344	1,074	819	574	458	2,261	
3月	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
	新入所者	0	0	31	93	155	299	277	885	93	527	556	1,804
	計	0	0	124	93	454	299	1,162	885	651	527	2,391	
合計	旧措置者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	325	0	325
	新入所者	0	30	349	1,098	1,913	4,444	3,022	9,551	1,331	6,505	6,615	21,598
	計	0	30	1,447	1,098	6,358	4,444	12,573	9,551	8,161	6,505	28,538	

定員	延べ利用日数	1日平均利用者数
84	28,538	78.18

別表(3)

短期入所(ショートステイ)

家族や利用者の自己決定を尊重したケアプランで介護にあたり、在宅生活の維持に資するように努めた。

令和元年度 短期入所生活介護利用状況

		要支1		要支2		要介1		要介2		要介3		要介4		要介5		合計		送迎
		個	多	個	多	個	多	個	多	個	多	個	多	個	多	個	多	
		人数		人数		人数		人数		人数		人数		人数		人数		
4月	人数	0	0	0	0	1	0	1	3	0	2	1	5	0	1	3	11	24
		0		0		1		4		2		6		1		14		
	日	0	0	0	0	5	0	5	14	0	34	16	88	0	9	26	145	
		0		0		5		19		34		104		9		171		
5月	人数	0	0	0	0	1	0	1	2	0	4	0	3	0	1	2	10	23
		0		0		1		3		4		3		1		12		
	日	0	0	0	0	7	0	7	13	0	105	0	49	0	11	14	178	
		0		0		7		20		105		49		11		192		
6月	人数	0	0	0	0	0	1	0	4	0	4	0	3	0	1	0	13	23
		0		0		1		4		4		3		1		13		
	日	0	0	0	0	0	26	0	27	0	104	0	45	0	7	0	209	
		0		0		26		27		104		45		7		209		
7月	人数	0	0	0	0	0	1	0	5	0	4	0	4	0	1	0	15	27
		0		0		1		5		4		4		1		15		
	日	0	0	0	0	0	2	0	82	0	101	0	56	0	5	0	246	
		0		0		2		82		101		56		5		246		
8月	人数	0	0	0	0	1	0	0	5	0	3	0	4	0	1	1	13	25
		0		0		1		5		3		4		1		14		
	日	0	0	0	0	3	0	0	88	0	93	0	70	0	9	3	260	
		0		0		3		88		93		70		9		263		
9月	人数	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	0	3	0	1	0	12	21
		0		0		0		5		3		3		1		12		
	日	0	0	0	0	0	0	0	89	0	90	0	43	0	9	0	231	
		0		0		0		89		90		43		9		231		
10月	人数	0	0	0	0	0	0	1	7	0	3	0	3	0	1	1	14	26
		0		0		0		8		3		3		1		15		
	日	0	0	0	0	0	0	4	96	0	93	0	41	0	9	4	239	
		0		0		0		100		93		41		9		243		
11月	人数	0	0	0	0	0	0	1	6	0	5	0	3	0	1	1	15	32
		0		0		0		7		5		3		1		16		
	日	0	0	0	0	0	0	6	85	0	107	0	47	0	17	6	256	
		0		0		0		91		107		47		17		262		
12月	人数	0	0	0	0	0	1	2	7	0	5	0	3	0	1	2	17	29
		0		0		1		9		5		3		1		19		
	日	0	0	0	0	0	2	9	89	0	129	0	39	0	19	9	278	
		0		0		2		98		129		39		19		287		
1月	人数	0	0	0	0	0	1	2	6	0	5	0	2	0	2	2	16	29
		0		0		1		8		5		2		2		18		
	日	0	0	0	0	0	8	13	79	0	130	0	36	0	20	13	273	
		0		0		8		92		130		36		20		286		
2月	人数	0	0	0	0	0	1	1	7	0	2	0	2	0	2	1	14	33
		0		0		1		8		2		2		2		15		
	日	0	0	0	0	0	8	11	83	0	34	0	34	0	17	11	176	
		0		0		8		94		34		34		17		187		
3月	人数	0	0	0	0	0	1	1	5	0	1	0	2	0	2	1	11	32
		0		0		1		6		1		2		2		12		
	日	0	0	0	0	0	10	14	84	0	31	0	36	0	37	14	198	
		0		0		10		98		31		36		37		212		
合計	人数	0	0	0	0	3	6	10	62	0	41	1	37	0	15	14	161	324
		0		0		9		72		41		38		15		175		
	日	0	0	0	0	15	56	69	829	0	1,051	16	584	0	169	100	2,689	
		0		0		71		898		1,051		600		169		2,789		

定員	延べ利用日数	1日平均利用者数
16	2,789	7.64

(別表4)

<平成31年(令和元年)度 主要行事実施報告>

4月初旬	花見
5月22日	運動会
6月5日	紅白歌合戦
7月3日・4日	プレ七夕まつり
8月7日	特養「夏まつり」
9月4日	白寿、米寿を祝う会
9月11日	敬老祝賀会
10月2日	和楽園フェスティバル
10月9日	避難訓練
10月8日～11月21日	秋のドライブ
12月5日	県立高等養護学校 コラボ事業交流会
12月11日	クリスマス音楽会
12月25日	クリスマスプレゼント交換会
12月19日・20日	ゆず風呂
1月1日	元旦祝膳
1月8日	初釜
2月3日	節分豆まき
3月3日	ひなまつり
3月7日	こころあったかコンサート(コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
3月25日	避難訓練

毎月第3水曜 音楽のつどい

ボランティア	6月8日	家族による園内清掃と交流会
	9月4日	白寿、米寿を祝う会にて「マロンフレンズ」
	11月初旬	大和会「鉢植え菊鑑賞」(最後のご挨拶)
	12月26日	JR西日本ふれあい楽団
	12月11日	クリスマス会にて「マロンフレンズ」
	毎月第3月曜	アコーディオンと歌
	随時	奈良韓国民団婦人部 園内清掃

<平成31年（令和元年）度 個別ケア実施報告>

誕生会 毎月誕生者

春のドライブ 延べ 53人 秋のドライブ 延べ 26人 体操 延べ 68人

買い物 延べ 4人 ケータリング 延べ 345人 喫茶 延べ 412人

<平成31年（令和元年）度 施設内研修>

6月19日・20日 食中毒・脱水と水分管理について<講師 明治>（感染症対策小委員会）

8月27日・28日 人権擁護・虐待防止 <講師 特養福住光明苑>
（虐待防止・身体的拘束禁止小委員会）

9月26日・27日 繰り返し起こる事故原因の振り返り （事故対策小委員会）

10月21日・25日 インフルエンザの感染拡大防止 （感染症対策小委員会）

11月28日・29日 褥瘡と栄養 <講師 ニュートリー> （褥瘡予防小委員会）

12月18日・19日 接遇とアンガーマネジメントについて<講師 奈良県手をつなぐ育成会>
（虐待防止・身体的拘束禁止小委員会）

2月27日・28日 心肺蘇生等の対応措置 <講師 日赤奈良支部>
*新型コロナウイルス感染予防のため中止 （事故対策小委員会）

3月4日・25日 利用者の行動に対する適切な対応 <講師 特養福住光明苑>
*新型コロナウイルス感染予防のため中止 （サービス向上委員会）

<平成31年（令和元年）度 実習受け入れ>

市立奈良看護専門学校	5月7日～10日	5名	7月16日～19日	5名
	5月27日～30日	5名	9月17日～20日	5名
	6月17日～20日	5名	10月7日～10日	5名

奈良佐保短期大学 初任者研修	9月4日～5日	2名
	9月9日～10日	2名
	9月11日～12日	2名
	9月18日～19日	2名
介護福祉実習	R2年2月17日～3月13日	4名

養護学校職場体験 奈良県立高等養護学校

6月24日～7月5日	7月29日～8月9日	8月19日～23日	10月28日～11月8日
11月11日～22日	12月2日～6日	12月9日～13日	R2年1月20日～24日
R2年1月27日～31日	R2年2月3日～7日		各1名

R2年2月13日 5名

4 在宅福祉事業

1 通所介護(デイサービスセンター)

ゆったりとした入浴や、四季折々の行事、クラブ活動、レクリエーションにも全員が参加できる工夫し利用者の孤立感の解決を図るとともに、個人のニーズにあったケアプランを作成し、心身機能の維持向上に努めた。また、機能回復訓練も計画的に取り組んだ。令和元年八月末日に休止した。

平成31年(令和元年)度 通所介護利用者数状況

	要 支 1	要 支 2	要 介 1	要 介 2	要 介 3	要 介 4	要 介 5	そ の 他	延 人 数	実 人 数
4月	0	8	12	57	26	3	0	3	109	15
5月	0	8	9	55	18	0	0	4	94	15
6月	0	8	11	56	20	7	0	4	106	15
7月	0	9	12	64	18	8	0	5	116	14
8月	0	9	10	57	21	7	0	3	107	14
合計	0	42	54	289	103	25	0	19	532	73

令和元年8月31日現在利用実登録人員

14人

定員	営業日数	1日平均利用者数
10	104	5.11

2 シルバーハウジング生活援助員派遣について

東紀寺町のシルバーハウジングに生活援助員を派遣し入居者の生活相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを行った。

	県営住宅（28戸）	市営住宅（27戸）
・生活相談	0件	0件
・安否確認（巡回）	254件	254件
（電話）	0件	0件
・緊急時の対応	10件	4件
・一時的家事援助	0件	0件

3 訪問介護センター和楽園

令和元年度 事業報告

訪問介護センター和楽園は、施設内での訪問介護を中心に、主は、養護老人ホームの特定施設の個々の介護ニーズに沿った介護サービス提供を実施いたしました。

尚、令和元年8月31日で特定施設体制変更により、休止いたしました。

以下、4月～8月について訪問介護のサービス提供の実績を報告いたします。

別表（1）職員配置

R1.8.31 現在

職名	基準人員	配置人員（常勤換算）	備考
管理者	1	1 (0.3)	事務長兼務
サービス提供責任者	1	2 (2)	
訪問介護員	1.5	2 (1.3)	非常勤（派遣）職員
		15 (6.0)	養護支援員兼務
合計	3.5	20 (9.6)	

別表 (2)

R1.8.31 現在

但し、介護保険給付による 平均介護度 3.32

年 月		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	延べ回数
平成 31	4	3	9	4	12	8	36	972
令和元	5	3	9	3	12	7	34	949
	6	3	8	2	14	6	33	891
	7	3	8	4	11	6	32	893
	8	3	8	4	11	6	32	890
合 計		15	42	17	60	33	167	4,595

別表 (3)

R1.8.31 現在

年 月		生活援助 1	身体介護 1	身体介護 2	合 計
平成 31	4	299	4,832	274	5,405
令和元	5	269	4,341	253	4,863
	6	270	4,225	244	4,739
	7	262	4,359	242	4,863

	8	288	4,574	261	5,123
合 計		1,388	22,331	1,274	24,993

注1：介護サービス区分は、外部サービス利用型特定施設の区分で表示

注2：数値は、介護サービス回数を表示

注3：単位数は、生活援助1：50、身体介護1：99、身体介護2：199、
身体介護3：271

時間数

生活援助1：15分

身体介護1：15分、身体介護2：30分、身体介護3：45分

5 ケアハウス和楽園

令和元年度 事業報告

入居者ができる限り自立した生活をしていただく事を基本とし、生活相談や安全管理等により安心感のある毎日と、食事や入浴に準備といった基本的な生活サービスを提供した。

生活相談として、入居者の日常生活動作の低下に伴い、介護保険サービスの利用が増え、他の事業所との連絡・調整等を行い、入居者に合った最適なサービスを提供した。

1. 入居者の状況

元年度中の入居者の状況は、別表（1）及び別表（2）のとおりである。

2. 職員の配置状況

職名	基準人員	配置人員	備考
施設長	1	(1)	(兼任)
事務員		1	
生活相談員	1	1	
介護員	1	1	
計	3	3 (1)	

3. 入居者の処遇

デイサービス、デイケア、ホームヘルパー等を利用する要支援・要介護者も多くある中で、全員の健康状態を把握し、各個人に合った最適なサービス提供をした。

また、服薬管理の必要な方が年々多くなってきている。(声掛けによる服薬管理も含む)

入居者の高齢化もあり、あまり入浴されていない方もおられ、体調等の様子を見ながら声掛けを行い、入浴を促した。

又、足元が不安定な方に対しては、入浴前に職員に声をかけて頂く事をお願いし、浴室に時々様子を見に行くよう努めた。

その他、水分をあまり摂られない方に対しては、日頃より入浴前・入浴後、又、外出時・帰園時は、水分補給の声掛けに努めた。

特に、夏場等の暑い時期には、居室内の温度管理が難しい方に対して、訪室時に声を掛け、適正な温度管理に努めた。

感染症が流行する時期は、手洗い・うがいを呼びかけ、特に外出先から帰園された時、及び食事前には必ず手指消毒をして頂く様に声掛けに努めた。

4. 給食について

業者に委託し栄養価・カロリーに配慮した献立を依頼している。

又、入居者の声を反映するため嗜好調査を実施し献立に活かすよう努めた。

定期的に給食会議を行い、問題点の改善、新しいメニューを導入した。又、出来るだけ温かいものは温かい状態で冷たいものは冷たい状態で提供できる様に、ハード面で難しい部分については、今ある食器をうまく活用できないかどうか提供方法等を検討した。また、食材納入に当たっては、衛生面のチェックを厳重に行った。

食堂で提供されたもの（漬物・果物等）を持ち帰りされる方については、その都度、食中毒について説明し、また、洗面台の良く見える場所に、食堂で提供された食べ物の持ち出し禁止のポスターを掲示し、持ち帰り禁止の理解を求めた。

全体的に入居者の ADL（日常生活動作）の低下がみられ、ご自身でお膳を取りに行く事が困難な方が多くなってきており、配膳対応を行った。

足元が不安定な方も多くなり、配膳対応している方を食堂入口付近に、元気な方については、食堂のカウンター付近に座席を集める対応をしており、席の移動について入居者の理解を求めた。

比較的元気な方についても、食堂の通路が狭いため、机や椅子の脚で躓く危険性があり、事故が無いように声掛けと見守りを行い最善の注意を払っている。

5. 教養娯楽費について

趣味によるクラブ活動として、養護老人ホームの習字クラブに積極的に参加した。

また、恵まれた環境を利用して散歩、買物、通院等で外出する方も多いため交通事故防止を呼びかけ注意している。

毎月末に誕生日会を開催、花束の贈呈や写真撮影、行事食を提供し、入居者全員で誕生日の歌を唄い、長寿と健康のお祝いをし、親睦をはかった。

令和元年度中のレクリエーション及び諸行事の実施状況は、別表(3)のとおりである。

6. 火災予防と避難訓練の実施について

施設での火災は致命的で、火を出さないことを重点に啓蒙に努めている。

居室及び廊下での喫煙を禁止し、ミニキッチンでの空炊き注意の声掛けを行った。

次のとおり避難訓練を実施した。

第1回 令和元年 10月 9日 午前10時30分より

第2回 令和2年 3月 25日 午後1時30分より

別表（1）

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
月末日 計		27	27	27	27	27	25	26
男		11	10	11	11	11	10	10
女		16	17	16	16	16	15	16
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平 均		
26	26	26	25	25	314	26.1		
10	10	10	10	10	124	10.3		
16	16	16	15	15	190	15.8		

別表（2）令和元年度中入居者月別移動状況

	入居者数			退居者数			月末在居者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月末	1		1	1		1	11	16	27
5月末		1	1	1		1	10	17	27
6月末	1		1		1	1	11	16	27
7月末							11	16	27
8月末							11	16	27
9月末				1	1	2	10	15	25
10月末		1	1				10	16	26
11月末							10	16	26
12月末							10	16	26
1月末							10	16	26
2月末					1	1	10	15	25
3月末							10	15	25
年 間	2	2	4	3	3	6			

別表（3）

令和元年度 主要行事実施一覧表

実施年月日	行事または行事名	参加人数	付添人数
平成31年 4月 1日	お花見 お花見弁当提供（昼食）	19名	4名
令和 元年 5月 15日	お買い物ツアー イオン大和郡山 （買い物・外食）	5名	2名
令和 元年 6月 5日	紅白歌合戦 （カラオケ）	5名	2名
令和 元年 7月 7日	七夕祭り そうめん提供（昼食） 笹飾り作り	全 員	3名
令和 元年 8月 15日	奈良大文字送り火 （2階ベランダにて見学）	2名	1名
令和 元年 8月 23日	夕涼み会 屋内にてバイキング形式	全 員	11名
令和 元年 9月 11日	敬老祝賀会	2名	1名
令和 元年 10月 2日	和楽園フェスティバル 手巻き寿司提供（昼食）	全 員	3名
令和 元年 10月 30日	タウンコンサート 14：00～ 講堂に於いて	1名	1名
令和 元年 11月 10日	ケータリング おやつ（ぜんざい提供）	全員	2名

令和 元年 12月 25日	クリスマス会	全 員	4名
令和 2年 1月 1日	元旦 新年の挨拶	全 員	3名
令和 2年 1月 11日	鏡開き ぜんざい提供	22名	3名
令和 2年 1月 25日	若草山焼き 2階ベランダにて見学	6名	1名
令和 2年 2月 3日	節分 巻きずし提供 (昼食)	全 員	2名
令和 2年 3月 3日	ひな祭り ちらし寿司・雛あられ・甘酒	全 員	2名
<p>その他に、誕生日会を毎月行った。 クラブ・レクリエーション等 (カラオケ、買物、映面上映、習字)</p>			

6 わらくえん保育所

令和元年度 事業報告

職員である保護者の方が安心して子どもを預けて働くことができるよう、家庭的な環境の中で園児一人ひとりの個性を尊重し、保育所生活の楽しさを味わえる保育を提供した。

また、園児2名が0歳児だった為、個人差に応じた生理的欲求を十分に満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き、情緒を安定させることができるよう努めた。

7. 利用園児の状況

*3月末現在、0歳児2人（男1・女1）が在籍。

*一時預かり保育は、11月5人、1月1人、2月1人の利用があった。

〔月別保育日数〕

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	22	15	21	22	25	107日

8. 職員の配置状況

職 種	員数	常勤	非常勤	備 考
園 長	1人			兼務
主任保育士				
保育士	6人	2人	4人	
事務員				
栄養士	1人		1人	委 託
調理員	1人		1人	委 託

9. 給食について

*業者に委託し、3月下旬から給食を開始した。

*乳児食の為、保護者の方と緊密な連携を図り、食材チェック表をもとに栄養士の方との話し合いで献立を決め、提供した。

*食材納入に当たっては、衛生面のチェックを厳重に行った。

*配膳時に職員は食事専用のエプロンを着用。

10. 健康管理

- *11月に歯科検診、1月に内科健診を実施した。
- *毎月身長体重を測定し、その結果を記録し、保護者にも伝えた。
- *在園児の予防接種の記録並びに、在園児の感染症の罹患記録を園に保管、随時更新した。
- *乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として、0歳児に対して5分おき、1・2歳児は10分おきの睡眠中チェックを実施した。
- *0～2歳児は1日2回（登園時、午睡起き）検温を行った。
- *全職員が毎月保菌検査の実施。

11. 安全管理について

日頃から職員間で話し合いや注意喚起を行い、全施設合同で年2回の避難訓練、保育所で毎月の避難訓練（火災・地震）、消火訓練を実施した。

〔合同避難訓練〕

第1回 令和元年 10月 9日 午前10時30分より

第2回 令和2年 3月 25日 午後1時30分より

令和元年度 主要行事実施一覧表

実施年月日	行事または行事名	参加
令和元年 12月 18日	クリスマス会 (養護のクリスマス会に参加)	全 員
令和元年 2月 3日	節分	全 員
令和元年 3月 3日	ひな祭り	全 員